



DENTAL CARE

意外と知らない歯科知識

「歯みがきで丈夫な体の基礎づくり」

6月4日(水)～6月10日(火)歯と口の健康週間です。この啓蒙活動は歯科疾患の予防処置の徹底を図り、早期発見、早期治療を行う事により歯の寿命を延ばし、健康保持増進に寄与する事を目的として、厚生労働省・文部科学省・日本歯科医師会が1958年から実施しています。

口腔機能発達不全症にさせない為には

平成30年より保険診療に加わった「口腔機能発達不全症」は、噛む・飲み込む・話すといった口の機能が上手くできない、口呼吸がある状態を指します。小児期は成長発達の大切な時期です。歯の萌出前からの口腔管理や離乳食指導が重要です。実際に、厚労省の調査では0～2歳の保護者の74.1%が離乳食に悩みを抱えています。正しい咀み方や飲み込み方ができるよう、口腔筋機能療法(MFT)、

0歳児からの咬合育成(おうち矯正)でキレイな歯並びを

将来正しい咬み合わせに誘導するには、お口の健診が大切です。口腔閉鎖不全(ポカン)は、無意識に口が開いている状態で、食べ方や舌の突出癖、指しゃぶり、口呼吸などが原因です。ボカントローリング(口腔閉鎖力を測定し、MFT(筋機能訓練)とおうち矯正)で早期に予防をしましょ。

学びの力と育む 食育・脳育は

ほつこりワールド
徳治昭童画展開催

6月7日(土)～6月15日(日)
(入場無料)

食生活の変化により噛み方に取り組むことで口腔機能の正常な発達を目指します。近年、治療を行い、お子さまを定期的にチェックし、必要に応じて早期歯の生え方や顎の成長を定期的にチェックし、必要に応じて早期治療を行い、お子さま

しっかりと噛んで食べることは、体の健やかな成長だけでなく、脳の発達にも深く関わっています。特に脳の前頭前野と呼ばれる部分は、小学高学年から活性化されることが分

ります。特に脳の前頭前野と呼ばれる部分に至るまでに発達し、噛む刺激によって人に対する認識が活性化されます。「シティライフを見た」と来場の方にプレゼントを進呈します。

セカンドオピニオン外来の相談は朝倉院長がお聞きします
インプラント・入れ歯・咬み合わせ・歯周病・矯正・審美歯科・ホワイトニングはお気軽にご相談ください。

(医)朝倉歯科医院/小児歯科Happy club

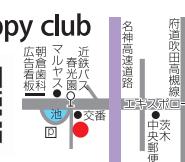
ホワイトニングサロンBLANCA

かかりつけ歯科医機能強化型診療所
大阪大学歯学部臨床研修施設

072-625-2001 (代表)

茨木市南春日丘1-1-19 朝倉デンタルビル

JR茨木駅から近鉄バスで5分 春光園(朝倉歯科医院前)



この先生に聞きました!



朝倉歯科医院
歯科医師
食育アドバイザー
出口 裕子



朝倉歯科医院
副院長
歯科医師
大阪大学臨床研修
指導医
佐藤 典子

徳治昭童画展 (入場無料・プレゼントあり)

6月7日(土)～6月15日(日) 11時～18時
茨木市駅前4-3-26 あさくらメディカルビル1F
※最終日は16時まで

ギャラリーあさくら

072-626-2006

徳治昭連絡先

090-8386-2447

の健やかな成長をサポートしましよう。

かっており、これが集中力や判断力、記憶力といた「学びの力」を育む土台になります。実際に、よく噛んで食べる子どもは、学習面でも良い成果が出ています。食育は単なる栄養摂取にとどまらず、脳を育てる「脳育」にもつながる大切な習慣なのです。柔らかいものばかり食べず、適度に噛みごたえがあり、噛み回数が増えような食材を使い調理を工夫して、子どもたちの心と日々の食卓から応援していきましょう。

意外と知らない歯科知識